

A**有機農産物生産行程管理者 認証申請書**

年 月 日

特定非営利活動法人おおいた有機農業研究会
理事長 鎗水 道雄 様標記の件につき、貴研究会の規定に基づき下記の項目を含む所定の書類を添えて申請します。
認証に関する貴研究会の要求事項を遵守し、必要な情報を提供することに同意します。

生産行程管理者 名称・氏名	代表者	
住 所	T E L : F A X : メール : 携 帯 :	
格付を行おうとする 農林物資の種類	有 機 農 産 物	転換期間中 有機農産物
品 目		
当該農林物資の生産を 行う圃場又は事業所の 名称及び所在地		
申請圃場面積 (a)		
申請圃場枚数		
生産者数		

添付書類に含まれている必須事項

1. 生産及び保管に係る施設
2. 生産行程の管理又は把握の実施方法
3. 生産行程の管理又は把握を担当する者の資格及び人数
4. 格付の実施方法
5. 格付を担当する者の資格及び人数

B-2

年 月 日

生産者名簿

生産行程管理者名称・氏名	代表者	生産行程管理責任者
--------------	-----	-----------

氏名 生年月日	住所・連絡先	申請圃場の枚数・面積	生産行程管理担当者	有機農業 開始年度
			格付担当者	
年 月 日	TEL	枚 a		
年 月 日	TEL	枚 a		
年 月 日	TEL	枚 a		
年 月 日	TEL	枚 a		
年 月 日	TEL	枚 a		
年 月 日	TEL	枚 a		
年 月 日	TEL	枚 a		
年 月 日	TEL	枚 a		
年 月 日	TEL	枚 a		
年 月 日	TEL	枚 a		
年 月 日	TEL	枚 a		
年 月 日	TEL	枚 a		

(注)生産者の異動については特に留意して、必ず生産者名は記入してください。

申請圃場及び施設全配置図(周辺状況)

※ 市販の地図を利用したの貼り付け、添付も可

生産行程管理者名	圃場番号	～	まで
	施設番号	～	まで
周辺状況特記事項			

※ 目印となる建物や自宅、堆肥場、各施設など全て記入し、位置関係や周囲状況が明確にわかるように記載すること。圃場と施設の表示を区別すること。

D-2-2

年 月 日

申請圃場毎図

生産行程管理者名	圃場面積	有機・ 転換中	圃場番号
		全	圃場中

※水路、道路など圃場の隣接部分の状況を詳しく明記すること。

--

D-2-4

年 月 日

申請圃場水系図（周辺状況）

※ 市販の地図を利用したの貼り付け、添付も可

生産行程管理者名	※水田などの関係する圃場の位置も記入する。有機・転換期間中・慣行等、各圃場の関係も明記する。
水系特記事項	

向きと周辺との関係が明確にわかるように記載すること。

D-3-2

年 月 日

生産・保管に係る施設毎図面

施設番号

生産行程管理者名

施設名称

※施設内の設備や機器の位置など、内部状況がわかるように記入して下さい。

--

D-3-3

年 月 日

申請圃場付帯施設での加工工程及び施設毎図面

※加工の工程や使用機械などが明確にわかるように記入して下さい。

生産行程管理者名	施設番号	施設名称
----------	------	------

--

有機 J A S 適合証明書

特定非営利活動法人おおいた有機農業研究会 御中

資材名： _____

製造者名： _____

販売者名： _____

当社の本製品(肥料登録番号： _____ 号・登録有効期限： _____) は下記のとおり製造されたものであり、有機農産物の日本農林規格別表1の基準を満たす資材であることを証明します。

- すべての原材料（造粒剤・乳化剤、酸化防止剤、加工助剤等補助的に添加するものも含む）が、別表1の肥料及び土壌改良資材に該当するものであると共にそれぞれの基準を満たしています。（ただし、育苗に用いる用土の原土の場合は、過去2年以上の間、周辺から使用禁止資材が飛来又は流入せず、かつ、使用されていない一定の区域で採取され、採取後においても使用禁止資材が使用されていない土壌のみを用いています）
- 1の基準を満たす原材料を用いて本製品を製造する工程において、化学的に合成された物質を添加していないと共に、化学的な工程を経っていません。
- 本製品では下記条件に該当する微生物資材及び酵素は使っていません。
 - 組換えDNA技術を用いて製造した微生物及び酵素。
 - 微生物の培養が終わった後に別表1に適合しない資材を添加した微生物資材。
- この証明書の有効期限は証明年月日から（ ）年です。但しその間に原料や製造工程に変更がある場合は、事前に認証機関に変更内容を通知します。
また、証明書年月日が3年を経過した場合は再度、証明書を提出します。

この証明書および添付資料の内容については、当社が責任を負うものとします。

証明年月日： _____ 年 月 日

住 所： _____

電 話： _____

F A X _____

会社名： _____

印

所属部署 _____

担当者名 _____

印

製造者名： _____

資材名： _____

製造工程 (フローチャート)

原 材 料 名	別表1の該当項目	農林規格適合の確認・補足説明

1. 原料を用いて本製品を製造する工程において、化学的に合成された物質を添加せず、化学的工程を経っていません。
2. 当資材証明の有効期限は証明年月日から3年とします。但しその間に原料や製造工程に変更がある場合は、事前に認証機関に変更内容を通知します。

殿

育苗培土について

育苗培土で使用できるものは、JAS規格で以下のように明記されている。

- 1.この表ほ場又は採取場の項の基準に適合したほ場又は採取場の土壌。
- 2.過去2年以上の間、周辺から使用禁止資材が飛来又は流入せず、かつ、使用されていない一定の区域で採取され、採取後においても使用禁止資材が使用されていない土壌。
- 3.別表1の肥料及び土壌改良資材。

苗土の名称

苗土の採取地住所

1・2 育苗培土として使用できるとした理由

3 別表1の条件を満たす資材であるということの書面

